

2019年5月30日

福島県知事 内堀雅雄 様

日本共産党福島県議団

団 長 神山 悦子

副団長 阿部裕美子

〃 宮川えみ子

幹事長 宮本しづえ

政調会長 吉田 英策

日本共産党県南地区議員団

オスプレイ飛行中止を求める緊急申し入れ

5月14日の夕方、CV-22 オスプレイ 2機が、訓練空域とは異なる場所（西郷村、泉崎村、白河市東部）や平田村で低空飛行や旋回を繰り返す姿が相次いで目撃され、多くの県民から、異様な機体や轟音に、恐怖と不安、怒りの声が寄せられています。以前には、古殿町住民から、振動で窓ガラスがビリビリと音がするほどの低空で飛行が行われていると抗議の声が寄せられています。

白河市東部（旧東村）で目撃した県民によれば、「オスプレイ 2機が泉崎村方面から飛行してきた。ゴーンという地鳴りのような轟音を響かせながら、東地域の野出島上空を機体ははっきり見えるほどの低空で3回も旋回し、石川方面へ飛び去った。近所の人たちも来て、今までに見たこともない機体や爆音に、『不気味さと恐怖を感じた』と大騒ぎになった」とのことです。この地域には小学校等公共施設もあり、その上空を低空で旋回を繰り返すのは、きわめて異常で重大問題です。

ご存知のように、オスプレイは、高率で事故が発生する上、危険な飛行を繰り返し、騒音や低周波音などで住民被害も相次いでいます。同じ横田基地配備のオスプレイが、確認されただけで18回も機関銃の銃口を出して飛行していたことも明らかになっており、住民の生命にかかわる由々しき事態です。

今回、従来の飛行ルート外でもオスプレイの飛行が目撃され、米軍が「やりたい放題」の飛行や訓練をしていることが明らかになったことを踏まえ、住民の生命と財産を守る立場から県としても厳重に抗議を行うべきです。よって、以下申し入れます。

記

- 1、今回のルート外の低空飛行訓練について、国に対して厳重に抗議すること。
- 2、県民の生命と財産を守るため、オスプレイの飛行を中止するよう国に求めること。
- 3、防衛省東北防衛局からの情報提供では、飛行ルートが明らかにされていないことから、事前にルートを明らかにするよう国に求めること。また、事前に明らかにされない場合、強く抗議するとともに事後報告を求めること。
- 4、県は、関係市町村へ直ちに周知するとともに、何らかの形で県民にも情報提供すること。
- 5、低空飛行訓練の中止を求めるとともに、住宅地・公共施設・学校等の上空は飛行しないよう国に求めること。
- 6、日米地位協定の見直しを国に求めること。

以上